

人とやま Summer

2024 | 夏号
6月

JA 富山市直売会
令和6年度役員のみなさんとまんなか市場店長

まんなが市場

2024年
7月・8月・9月
税務相談日
(本店2階)

7/10(水)

7/25(木)

8/13(火)

8/26(月)

9/10(火)

9/25(水)

各 PM1:00~
PM3:00

Contents

目次

- 第59回 通常総代会
開会挨拶 2
- 第59回 通常総代会
付議議案 3
- 総代会事前意見等
Q&A 4-5
- トピックス、
優績表彰を受賞 6-7
- 各課からのご案内 8-9
- 令和6年度米 出荷契約数量
地区別明細 10
- 令和6年度 地域農業振興
支援事業 11

JA 富山市
まんなか市場
営業時間 9:00~18:00
定休日 年中無休
(年末年始を除く)
土・日・祝日 9:00~16:00



第59回 通常総代会開催

ご多忙のところ多くの総代にご出席賜り、本日、第59回通常総代会をここに開催できまことに厚く感謝申し上げます。

本日の通常総代会は、本年2月の総代選挙にもとづく新たな総代及び再選総代の皆様が出席する改選後初年度の開催となります。本年度を含め3年間の任期であります。当組合の事業運営に対し継続的な指導を賜りたくお願い申し上げます。

総代会は、総会同様、組合の最高意思決定機関であります。その構成員である総代方々の総意によって組合の重要事項を決していただくわけであり、併せて総代の皆様には、地域のリーダーとして組合員と組合役職員の協同の先頭に立つての活動を期待しております。

なお、本日、ご出席できなかった総代方々におかれましては多くの議決権行使をいただきましたことこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、世界の情勢は、未だに終息が懸念されるロシア・ウクライナ及びイスラエル・パレスチナの武力紛争により混沌とした情勢が続いております。世界各地で自然災害・温暖化が発生しており農産物の生産も不安定となり地球規模での課題が山積していると言えます。国際経済に目を向けますと日米金利差による円安進行が顕著であり輸入品物価高により国内の家計を苦しめております。

一方、国内に目を向けますと新型コロナウイルス感染症上の分類が「5類相当」移行から1年が経過し、コロナ禍前の日常生活を取り戻す経済活動が進行してまいりました。政府・経済団体の後押しもあり、企業の賃上げも企業間格差はあるものの浸透しております。しかし、厚生労働省の本年3月勤労統計調査によると物価変動を考慮した1人当りの実質賃金は、前年同月から2.5%減であり、マイナスは、24ヶ月連続となりリーマン・ショックの景気低迷時を超え、過去最長を記録しています。賃上げ効果以上の物価高が家計悪化に歯止めがかからないものとなっています。

身近なところでは、何といても本年元旦に発生したマグニチュード7.6の能登半島地震であります。内閣府非常災害対策本部の5月8日現在の公表では、死者245名、負傷者1,309名、住家被害120790棟(内、全壊8,597棟と甚大な被害状況を示しています。

富山県内では、死者0名、49名の負傷者と人的被害は、軽

度でありましたが、住家被害では、18,606棟(内、全壊244棟)と被害調査は現在も継続中であります。農林水産関係は、2794箇所被害があり、水路損傷をはじめとする土地改良関係が、2426箇所と多数を占めております。畜舎や農作業所、共同利用施設、倉庫等の損傷など農業関係は、92箇所の被害状況となっています。

亡くなられた方のご冥福と被災者の回復、被災地の復興を謹んでご祈念申し上げる次第です。一昨年よりJA職員による不適切な共済契約等コンプライアンス違反についてマスコミが大きく取り上げ報道されたところであります。当組合を含めJAグループでは、適切な共済推進、適正な事務手続きの実施を通じてコンプライアンス厳守を徹底しております。

このような中で、JAグループ役職員は、現在も共済契約者に対し自ら震災被害の確認・調査と共済金の早期支払手続きを進めております。一部の契約者様からは、JA共済に加入していたことに対し安心・満足をはじめとする多くの感謝の言葉をいただいております。私が言うのも何ですが、民間保険会社に負けないくらいご契約者に寄り添う活動を展開していると自負しております。当組合の職員による提案で今年度は、一人でも多くのご契約者様とお会いしたいことから土曜日にお変わりがないか訪問活動をさせていただいております。

能登半島地震で気付かされたものは、多いと思われませんが、私も被災地に向き現場を自身の目で確認してまいりました。道路の損壊により普通車での通行は困難極まるものでした。やはり平時より万が一の備えが必要でありますし、災害の復旧におきましては行政の支援はもとより各地域単位での共助が不可欠であると痛感致しました。

さて、国内農業を取り巻く環境は、依然として農業従事者の減少と高齢化による慢性的な労働力不足に加え、資源高や円安などの影響により生産資材価格が高止まりする中、国産農畜産物の生産量の減少及び価格転嫁は進まず農家経営がさらに厳しさを増しています。加えて本年4月からは働き方改革関連法が施行され、物流における人員不足や運送コストの上昇等も危惧され益々、食料の安定供給が懸念される事態となっています。

また、現在、国会では、農政の憲法である「食料・農業・農村基本法」の改正が審議中であります。本法の改正案は、法律の基本理念に「食料安全保障の確保」を新たに加え農産

物や農業資材の安定的な輸入を図るほか農業法人の経営基盤の強化やスマート技術を活用した生産性の向上などに取り組むことが盛り込まれています。JAグループでは、法案成立後の次期基本計画の具体化に向け、組織内での検討結果を整理しております。大きなポイントについて4点、申し上げます。1点目は、「食料安全保障の確保に向けた基本政策の確立」です。国内の農業生産の増大を基本とした食料安全保障の確保を政策の柱に、基本政策を確立することとあわせ、基本法改正元年にふさわしい万全な関係予算の確保が不可欠です。2点目は、「次期食料・農業・農村基本計画の実効性の確保」です。次期基本計画の策定にあたり、「全ての」農業者が将来にわたり展望を持って営農に取り組めるよう、実効性のある施策が重要となります。また、食料自給率の向上など、食料安全保障に関する目標を設定し、達成に向けた各種施策の着実な実行が必要です。3点目は、「適正な価格形成の速やかな法制化」です。適正な価格形成の実現に向け、国産農畜産物の再生産に必要なコストが、食料の持続的な供給に要する合理的な費用に含まれることを考慮し、早期の法制化が必要と考えています。最後の4点目は、「全国で老朽化が顕在化している共同利用施設の整備・更新対策」です。これら食料安全保障の確保や、持続可能な農業・地域づくりのための政策確立に向け、政府・与党への働きかけを強化してまいります。

さて、当組合の事業運営について概要をお話させていただきます。

先ず、前年度の事業損益ですが、先程、申し上げた厳しい事業環境ではありますが、出席総代はじめ組合員の方々の事業利用により経常利益は、約92百万円強を確保することができ、計画対比125.9%と中期経営三ヶ年計画を約17百万円強上回る実績となりました。出資配当におきましては、昨年同様の配当率1%をご提案させていただきました。財務面におきましても自己資本比率19.72%と昨年から0.37%増加することができ健全値を示しております。また、資料本冊の最終頁には、中期経営三ヶ年計画に対する進捗状況を掲載しておりますが、税引前当期利益ベースでは、計画値を順調に確保できております。

あらためて組合員のご支援の賜物であると感謝申し上げます。要因等詳細につきましては、第一号議案にて上程させていただきます。

一方、今年度の事業計画ですが、引き続き持続可能な食料・農業基盤の確立及び組織・事業基盤の確立と地域の活性化を基本方針として当組合の経営基盤強化に努めること

によつて事業総利益は、前年度実績を約3百万円強上回る850百万円にて計画させていただきました。本計画の中で生産組合員の皆様への事業支援となる営農改善・生活文化・教育情報費の予算は、基本方針に基づき前年度実績を約11百万円上回る41百万強を計上させていただきます。

今年度の経常利益につきましては、昨今の物価高・エネルギー価格高の影響を見込み施設費が膨らむこと及び受取配当金の減収が確実なことから前年度実績から約63百万円減となる28百万円強を計画させていただきます。非常に厳しい事業環境ではありますが、農業者の所得増大と当組合の経営基盤強化を併せて向上する経営を目指してまいります。

当組合が取り組むべき事業内容については、JA富山市自己改革工程表にてお示しさせていただいております。今年度は、JA富山市の自己改革工程表の総仕上げ期となります。最終年度の目標値に到達できるよう進捗管理PDCAを継続してまいります。今年度事業計画及び自己改革工程表の詳細につきましては、第四号議案にて上程させていただきます。

当組合の経営概況を説明させていただきましたが、当組合が、当面、目指すべき方向性としては、昨年度も述べましたが、県内で一番コンパクトな規模のJAであるからこそ組合員の皆様と寄り添いながら活動できる強みを活かして地域農業振興と向かい合っていきます。例えば、本年開設三年目を迎えるトータルサポート室の専属職員が、組合員の農業経営と生活支援の相談機能の発揮に取り組んでおります。近年は、相談内容も相続、事業承継をはじめ高度・複雑化しており弁護士、税理士等の専門家の指導を受け課題整理にあたっております。併せて今後、組合の組織力を強固にするためにも組合員が主体性をもって活躍できる場の提供を検討してまいります。組合員間のリレーションシップの構築に役職員が仲介機能を発揮して組合員・地域が有する悩み・問題を組合員自身で解決に向け話し合う場を近いうちに設けたいと考えております。協同組合原則の中にある「自主的に開かれた組合員制」、「自主・自立」にもとづく協同活動こそが組織基盤を強固にする原点だと信じております。

当組合は、店舗統廃合してから8年目を迎えます。統廃合により業務効率を高める恩恵もありますが、店舗統廃合前の7支所体制時は、組合員の皆様、最寄りの支所前を通る際は、職員の顔を見る目的にてお寄りいただく機会が多かったような気がします。それだけ組合員と役職員の関係が下町家族に近いものがあつたのではないのでしょうか。現在、二支店体制となっておりますが、今一度、以前のような光景を見たい思いで一杯であります。なかなか支店に出向けない組合員

の皆様に対しては、役職員の方から積極的に声掛けするよう働きかけさせていただきます。今後、当組合は、農業の発展・成長のために次の取組みを進めたいと考えております。

一、営農指導員による相談サービスを強化し、農業者のもとに出向き農業経営をサポートすること

二、農畜産物の販売チャンネルの多角化や加工・業務用需要の増大などの変化に対応し、マーケットインに基づき消費者、実需者のニーズに応えること

三、JAグループ組織のフル活用により生産資材価格と生産技術の両面からコスト低減に取り組むこと

四、ジェイエーとヤマサビスを通じて地域で対応できない労働力を支援し、生産現場を支えること

五、スマート農業による省力化で農業の働き方改革の提案を進めること

六、脱炭素、有機栽培等の研究を通して環境調和型農業へ取り組むこと

併せて安心して暮らせる地域社会のために次の取組みを進めたいと考えております。

一、農産物直売所や支店を拠点として准組合員及び地域住民を巻き込む農業振興に取り組むこと

二、農業体験や地域イベント支援を通じて食農教育で次世代に繋ぐこと

他にも取り組むべき事項は、山積していますが、今年度は、中期経営三ヶ年計画及び現役員3年任期の最終年度となる仕上げ期でありますことから悔いの無いよう全身全霊で組合員の負託に応える所存であります。

なお、本日の総代会を迎える前に総代の皆様からいただきましたご意見、ご質問につきましては、誠心誠意ご回答させていただきます。皆様方からお寄せいただきました貴重なご意見、励ましは、当組合組織を強固なものとする糧であり、重ねて感謝申し上げます。

結びとなりますが、総代各位におかれましてはこれまでのご支援に対し敬意を表すると共に今まで以上のご指導を賜りますようお願い申し上げます。併せて、皆様

方の今後益々のご繁栄とご多幸を祈念申し上げます。令和6年5月25日

富山市農業協同組合
代表理事組合長 高野 諭



第59回 通常総代会付議議案

第1号議案

△報告事項1▽

第58年度事業報告及び剰余金処分案承認の件
第58年度貸借対照表、損益計算書、
注記表及び附属明細書の件
第58年度部門別損益計算書の件
定款一部変更の件
附帯決議

第2号議案

行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
定款附属書 総代選挙規程 一部変更の件
附帯決議

第3号議案

行政庁の指示により、字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
第59年度事業計画設定の件
但し、経済情勢の変化などにより事業計画の内容を一部修正する必要があるときは、これを理事会に一任する。

第4号議案

第59年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法決定の件
2,503,068円

第5号議案

1. 賦課金の総額
令和6年6月末現在において賦課するものとし、その賦課基準は次による。
（1）組合員割 200円（1人当たり）
（2）面積割 100円（10a当り）

3. 徴収時期
令和6年10月31日までに全額徴収する。
4. 徴収方法
徴収の最終期日までに納入されないときは、その期日をもってこの組合の貯金口座から振替決済の方法による。

第6号議案

第59年度における理事の報酬に関する件
第59年度における理事の報酬は、昨年度の支給実績、経済情勢の変化等を考慮して総額20,600千円以内とし、その範囲内における各理事の報酬額並びに支給方法などは理事会に一任する。

第7号議案

第59年度における監事の報酬に関する件
第59年度における監事の報酬は、昨年度の支給実績、経済情勢の変化等を考慮して総額5,400千円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額並びに支給方法などは監事の協議に一任する。



総代会事前意見等 Q&A

経営

Q. 職員の業務引継ぎが不十分なため当方から教えることが多々ある。各事業部門にもっと専門知識を有する職員を担当配置していただきたい。もっと指導力を発揮してほしい。

→ **A.** ご指摘のとおり人事異動時の引継ぎが不十分であることからご迷惑をおかけしましたこと申し訳ございません。資料本冊P63記載の(2) 役職員の教育訓練の基本方針に基づき職員の人材育成に努めてまいります。なお、若い職員においては、農業実務経験が無い者も多く、組合員の皆様から教えを被ることも多々ありますが、農協組織と共に育てていただきたくお願い申し上げます。

Q. 燃料センターの営業日、営業時間が本年4月1日より変更されたが、再考いただけないか。

→ **A.** これまでの利用実績の検証結果と働き方改革による労務負担軽減を目的に変更させていただきました。何卒、ご理解願います。なお、県内JAにおきましても平日に定休日を設けている事例もありますし、ご利用者の皆様には、ご不便をおかけしますが計画的なご利用にご協力願います。

Q. 新聞に農林中央金庫が、外債運用での含み損拡大により1.2兆円の増資を検討しているとの記事が掲載されている。本件についてわかる範囲での説明をお願いしたい。また、このことにより今後の富山市農協の経営に影響を与えるのではないかと心配である。

→ **A.** 農林中央金庫は、国内のメガバンクや地銀と違い、主に米国で米ドルにより短期で資金調達し、元本割れしない高利回りな外国債券を運用して収益を上げています。その為、資金調達は、米国の短期金利の高騰影響を受け、運用は、米国の長期金利の下落影響を受けることになりました。この影響により現在、短期金利が、長期金利を逆転しており、経過として収益が、上がらない状態となり、多額の評価損が発生しました。なお、評価損が発生しているのは、米国債が中心でその元本が、毀損しているわけではないので償還の可能性には問題無いと認識しております。また、評価損を計上しましても農林中央金庫の財務健全性を示す自己資本比率は、21.23%であり、他業態と比較しても高い水準を維持し、健全性は確保していますので問題は無いと考えております。なお、資本増強においては、報道等で取り上げられていますが、JAグループとしてこのような状況を想定し、元々取り組まれているものがありますので、その流れにそって慎重に協議・検討の上、進めてまいります。

Q. 第58年度損益計算書における事業外費用として支払雑利息169千円が計上されているが、どのような内容なのか。

→ **A.** 支払雑利息は、本年度、初めて計上した科目であります。主な内容は、前年度、各事業所、施設・倉庫の照明を電力省力化を目的にLED照明へ切替致しました。その切替工事は、リース会社を通して実施しました。LED照明器具は、リース料の支払完済後、所有権が当組合に移転されることからリース資産として物件購入相当額を計上しました。支払リース料の内、利息相当額を会計ルールに従い、事業外費用として支払雑利息科目にて会計処理致しております。

Q. 農家組合員が減少、高齢化する中、総代定数500名の見直し及び各地区の配分定数を削減する弾力的な措置はできないのか。検討を願う。

→ **A.** かねてから同様のご意見、要望をいただいております。総代定数500名においては、当初、正組合員5名に対し1名ということとで設定しております。農家の減少を根拠に総代定数を変更することは、農家組合員及び土地持ち非農家組合員が、農協事業へ参画するアクティブメンバーシップに逆行する懸念を感じます。組合員が農協を身近な拠り所としていただきたいと存じます。しかしながら、総代選出に困難を極めている生産区域があることは、理解しております。正組合員資格の定義を含め継続的な議論を重ねて検討してまいります。

営農

Q. 福井県の「いちほまれ」は、食味ランキングにて連続して「特A」を獲得している。「コシヒカリ」より多収量、高品質のようである。当組合管内でも「いちほまれ」の栽培・出荷ができれば良いと考える。

→ **A.** 米の食味ランキングは、主な産地品種銘柄について、日本穀物検定協会がその供試試料を食味試験した結果に基づいて評価するものであり、流通するすべてのお米を評価しているものではありません。そういう意味では、食味ランキングの評価結果のみで総合判断できないと考えております。しかしながら、今後、県産米が同協会「特A」を獲得できるよう技術指導に傾注してまいります。なお、「いちほまれ」を栽培するより今求められているのは、県と共に県産米の高品質・多収量に向けた取組みであると考えております。どうぞご理解願います。

Q. JA富山市自己改革工程表の進捗状況であるが、令和4年度実績と令和5年度実績を比較しますと後退している重点施策がある。その原因分析と今後の対策について説明を願う。例えば、「ゆうだい21」の生産面積の減少について説明いただきたい。

→ **A.** 「ゆうだい21」の生産面積が、令和5年度目標及び令和4年度実績を下回っている要因としては、転作率の増によるものです。令和4年度の転作面積は、873.6haに対し令和5年度は、0.47%増(12ha増)の885.6haであります。自己改革工程表の目標値は、令和3年度実績を参考値として計画しましたが、令和4年度より想定以上の転作率(39.3%)となり2%以上も上昇していることが大きな要因と考えております。併せて、県が生産販売強化する「富富富」への作付転換も一因であると考えております。

Q. 資料本冊P10の営農改善事業報告にて米の差別化に向けた「ゆうだい21」の生産面積拡大の推進を行ったというが、結果が伴っていない。

→ **A.** 前年度は、「ゆうだい21」の作付圃場に独自看板を設置し、令和6年度の作付PRに努めました。栽培技術も確立し、高温耐性に優れ上位等級比率も安定しています。販売先からの需要も旺盛であり、複数年契約による販売価格設定にて価格の安定性を有しています。今年度の作付面積は、前年度比で約13ha増となる約127haを見込んでおり、テレビ番組等でも良食米として取り上げられ高評価を得ております。本品種の作付は、当組合が全国トップであり、現在、70経営体で作付していますので是非、作付増大をご検討願います。

Q. J A富山市自己改革工程表での「ゆうだい21」の生産拡大が様々な要因にて目標値達成困難であるとのことだが、何が原因であったか分析し、次年度計画に改善を反映させるといったPDCAを示すべきである。P75の令和5年度の取組内容と次年度取組計画の内容がさほど代わり映えない。もう少し原因分析、対策を反映した丁寧な資料にすべきである。今後、検討を願う。

→ **A.** 令和5年度の振り返りを明確にし、次年度計画にその対策を具体化して反映してまいります。「ゆうだい21」においては、生産技術面、普及PR面で作付拡大に取り組んでまいりました。その結果、今年度は、作付する経営体が3経営体増、作付面積も前年度実績から約13ha増となります。来年度は、自己改革工程表を更新する期でありますので、ご指摘の意見を反映させていただきます。当組合としては、需要が旺盛であり商品多様化が見込める「ゆうだい21」と県ブランド米「富富富」を両立して拡大できればと考えております。

Q. 本年より南部ライスセンターにて「富富富」の乾燥調製を受入れすることから作付が増えると思込まれる。農協は、他に多くの品種を取扱いするわけだが、もう少し品種を絞り込むような措置は検討できないのか。「ゆうだい21」の生産拡大にも頭打ち感が感じられるので、更なる拡大を図るのであればもっとPRすべきである。

→ **A.** 「ゆうだい21」の生産拡大に向けた取組み進捗状況を中心に説明させていただきます。昨年度は、「富富富」の作付推進もあり面積は、113haとなりました。県では、令和6年から10年の間に「富富富」を「コシヒカリ」並みの作付面積にする計画のようです。当組合の「コシヒカリ」の作付面積は、963haであり、全品種計1,523haの約60%を占めております。当組合では、「富富富」作付面積は、前年度91haでありましたが、「コシヒカリ」は、以前、強い人気があります。但し、マーケットインの視点では、「富富富」の方が引き合いが強い傾向にありますし、価格も優位です。「ゆうだい21」は、ご存知のとおり全農を通じて(株)神明に供給しており、大手企業からも同品種に対し高い食味評価により人気を高めています。先般の(株)神明の工場視察研修の評判も良く、作付を増やしたいという意見もございました。全農・(株)神明との販売契約におきましては、現在、3年間の複数年契約であります。5年契約への変更交渉を進め価格安定を求めています。高温耐性品種である「富富富」、「ゆうだい21」いずれも農家所得向上にも寄与しますので、作付拡大をお願い申し上げます。

Q. 資料本冊P11の営農改善事業報告にて、畜産部門では畜産振興支援事業や経営所得安定制度による支援を行ったというが、具体的な支援内容と支援額について説明を願う。

→ **A.** 当組合の「地域農業振興支援事業」では、畜産振興助成を制定しており、畜産飼料価格高騰助成を行っています。当組合からの飼料供給額の範囲での助成になりますが、飼育頭数×1万円（最高限度額50万円）という助成額です。令和5年度の助成額は、132万円であります。経営所得安定制度は、肉用牛が出荷されたとき販売価格が、標準的な生産費を下回った場合、補填する制度です。当組合では、制度加入し申請手続きを支援しております。令和5年度は、最高で和牛82千円、交雑種56千円の交付額でありました。

Q. 子会社有ジェイエーとやまサービスの事業計画に関連するが、農業の後継者不足が顕著であり、今後、一層、農地の休耕田増加が予想される。受託の充実化のため大幅な支援・助成を進めていただきたい。安心して委託できる体制の構築を願う。

→ **A.** ご指摘のとおり農業従事者の高齢化による後継者不足は、当組合に限らず全国的な国難と言えます。当組合子会社の今年度事業計画では、前年度並みの委託面積を責任もって受託できるよう計画しています。子会社では、受託作業人員の補強及び管理監督の充実を進めていく所存です。また、委託者側におきましても地区単位でできる限りのご支援（除草・水管理等）をお願い申し上げます。後継者問題については、組合員皆様と共に協議していかなければなりません。J Aグループとして多方面による新規就農者支援を継続し、食農教育を通じて次世代へ農業に魅力を感じてもらおう取り組んでまいります。

Q. 有ジェイエーとやまサービスにおいては、どの程度の作付面積で赤字になっているのか。私も1.3ha程度の作付を行っているが、約1百万円の赤字である。どうやって農協の収益を高めていくのか理解できない。まず、有ジェイエーとやまサービスが「ゆうだい21」や「富富富」を作付していくべきと考える。

→ **A.** 令和5年度の有ジェイエーとやまサービスの受託面積は、約77haであり、内、44haが水稻です。内、「ゆうだい21」は約14ha、「富富富」は約6haを作付しています。また、有ジェイエーとやまサービスの経営体制の見直しも検討中であります。

Q. 昨今、周辺の生産者が離農し、休耕田が増加している傾向が顕著である。農協は、このような実態を把握しているのか。また、作物の作付変更等についても把握しているのか。農産物の生産が減退すると農協組織そのものが成り立たなくなる。土地持ち非農家への支援も大切であると考え。

→ **A.** 役職員が積極的に訪問活動を展開して実態把握に努めてまいります。農産物生産基盤の課題については、どのJ Aにも共通した課題であります。どうやって持続可能な農業を展開していくかを組合員皆様と話し合い、できるものから取組みたい所存です。

Q. 富山市農協管内で大規模農家がどの程度いるのかもわからない。農地委託先としての情報が少ないと言える。また、大規模農家は、受託可能なのかといった情報も欲しいところである。

→ **A.** 令和5年度の担い手農家経営体数は、158経営体（内、認定農業者は79経営体）となっています。担い手農家に受託余力があるかという点ですが、個々によって違います。昨年の収量減・品質減もあり今年度、担い手農家は、何かと試行錯誤していると伺っています。収益を確保できる農家は、どのような取組みを行っているのか座談会等で意見交換したところ水管理、溝掘りが重要であるとの意見をいただいております。各会議体等で出た共有化すべき情報については、今後、開示してまいります。



全農とやまより「農業に触れること」や「JAの役割を知ること」を目的とした新規採用職員実地研修の依頼を受け、当JAにて6名を受け入れ行われました。8日間に及ぶ研修を通して「なかなか思い通りにいかないことが多く、農業の大変さをはじめて知った」「この研修での経験を忘れず、農家の方に寄り添った仕事をしたい」と今後への意気込みを語る姿が印象的でした。

4/8
~4/17

全農とやま 新規採用職員 実地研修を開催

物流センターにて農業用廃プラスチック回収を実施しました。これは、環境保全問題に対する関心が高まる中で、産業廃棄物としての適正・確実な処理・処分を行うため、毎年実施しています。今年は、約5.5tの農業用廃プラスチックが回収されました。今後もJA富山市は環境保全に努めてまいりますので、組合員の皆さまもご協力をよろしくお願いします。

6/8 環境保全への 取組み 農業用廃プラス チック回収を実施



富山県JA信用・共済事業合同推進大会が開催され、2023年度信用事業・共済事業ともに優績表彰を受賞しました。

・JAバンク富山県域表彰
JA表彰部門 第1位

4月26日(金) 優績表彰 を受賞

坂井 優樹

- ・令和5年度優績ライフアドバイザー 特別賞
- ・建物基盤特別賞 共済専任2年未満の部 第2位
- ・自動車共済特別賞 共済専任2年未満の部 第1位
- ・ニューパートナー特別賞 共済専任2年未満の部 第1位
- ・令和5年度 全国統一JA共済インナーキャンペーン
ひと保障の部 入賞

廣瀬 舞

- ・令和5年度自動車共済クルマスターインナーキャンペーン
スマサポ部門 第9位
- ・令和5年度自動車共済新規契約獲得インナーキャンペーン
スマサポ部門 第7位
- ・令和5年度自動車共済 お見積りキャンペーン応募件数 第3位
- ・令和5年度自動車共済 グレードアップキャンペーン
車両諸費用の部 第3位

横井 祥子

- ・令和5年度JA推進活動コンテスト 新任JA部門
共済専任の部 入賞



(左から廣瀬・坂井・横井)

今後も組合員の皆さまに寄り添った存在であるよう職員一同精進してまいります。



太田小学校

5年生



泥んこ田植え体験

J A 富山市は地域貢献活動・食育の一環として各地区の自治振興会や地域の組合員、保護者や青年部の皆さん協力のもと幼稚園、小学校の子どもたちと一緒に田植え体験を行いました。

この体験を通して、食の大切さや農業に子どもたちが興味関心をもつきっかけになればと思います。



月岡小学校

5年生



堀川幼稚園

年長組



新保小学校

5年生



黒部峡谷宇奈月温泉

「延対寺荘」で旬の幸とお湯を堪能

令和6年度年金受給者友の会地区別総会が6月18日より7月9日にかけて開催しております。今年度は宇奈月温泉「延対寺荘」を会場に、各地区より多くの年金友の会の会員の参加をいただき、会員の皆様の親睦を図りました。

今年度の総会会場である「延対寺荘」は、老舗料理旅館の伝統の技を受け継いだ富山の旬の味が自慢。また、黒部峡谷の大自然によって磨きぬかれた温泉は美肌効果が高く、会員の皆様はそれぞれ、日頃の疲れを癒されたことと思います。

また、10月22日には年金受給者友の会パークゴルフ大会を開催予定ですので、興味のある方、参加を希望される方はお近くの支店へお問い合わせください。

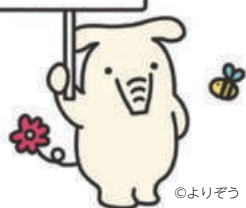
当JAでは、今後も一人でも多くの方に年金友の会の会員になっていただき、このような交流の輪が広がっていくことを願っております。新たに年金受給手続きをされる方は、JAにて年金額の試算や請求手続きの代行をさせていただきます。また、現在、他の金融機関で受給されている方は、簡単にJAで受給の変更手続きができますので、ぜひJA富山市での年金受給をお願い致します。



ただ今、年金受給日には「ご来場キャンペーン」を開催しており大変好評いただいております。ご来場いただきましてプレゼントをお渡ししております。

お近くの支店へお気軽にお問合せください。

年金友の会
会員募集中!



©よりぞう



J Aバンクからの大切なお知らせ

ATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

いつもJ Aバンクをご利用いただきありがとうございます。
このたびJ Aバンクはお客様へのサービスや利便性の向上を
目的としたシステム更改に伴い、誠に勝手ながらATM・J A
ネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。
ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

7月14日(日曜日)

全取引休止 6:30 - 9:00

すべてのサービスが休止

7月15日(月曜日・祝日)

一部取引休止 0:00 - 24:00

県内JAのATMとJAネットバンクサービスはご利用可能

8月17日(土曜日)

全取引休止 21:00 - 翌8:00

すべてのサービスが休止

アプリを
楽しもう

安心して
使おう

金融課

からのご案内

スマホ教室



今年もスマホ教室を開催します！

アプリってなあに？スマートフォンって
ちょっとこわい。そんな方におすすめです。
おひとりでも、ご夫婦でも、お友達とでも。
ぜひご参加ください！

参加費
無料

① **7月24日(水) 10時00分～**

J A富山市中央支店 2階 (富山市堀川町 210)

② **7月25日(木) 10時00分～**

J A富山市本店 3階 (富山市吉岡 466-1)

定員 各 10 名 (要予約)

講師 スマホアドバイザー(ドコモショップ富山南店)
※ドコモとご契約のない方も参加可能です！
※販促は致しません！

参加のお申込みはJ A富山市 各支店まで！

J Aの
●●です

手続きのため
口座番号・暗証番号
を教えてください

医療費が
戻ってきます

年金の還付金
があります



ちょっと
待って！

これは詐欺です!!

J A富山市管内でも電話による特殊詐欺が発生しています。
少しでも怪しいと感じた際はJ A富山市へご相談ください。

役所やJ Aの職員が電話で口座番号・暗証番号を
聞き出すことは絶対にありません。

口座番号や
暗証番号は

絶対に **教えない!!**

富山県警察「安全情報ネット」

身近な地域安全情報をいち早くメールで配信します。

不審者情報

●声かけ、痴漢事案 など

特殊詐欺情報

●被害に関する情報 など

交通安全情報

●交通規制・交通障害情報 ●公開指導取締情報 など

危険動物情報

●熊・猪などの出没・目撃、安全確保に関する情報 など

▶まずは登録！



富山県警察

Coming Soon

限定醸造

J A 富山市
オリジナル清酒

剣 誉

《720ml・1.8ℓ 発売予定》



購買課

からのご案内

今年は2年間寝かせた
熟成酒もあります！
お楽しみに！

省エネ家電あります！
夏に向けて備えませんか？

7月5日(金)

15:00 ~ 19:00

J A 富山市
本店3階にて

6日(土)

9:00 ~ 16:00

同時開催

納涼祭

出張/

まんなか市場

是非お越しください！

七夕

フェア

第41回農業機械総合大展示会

農機フェア
2024

さあ、描き出そう。

農業は
土を彩る
アートだ



機械センター

からのご案内

- ◆大 除雪機商談会
 - ◆共同購入コンバイン
 - ◆お子様向け体験イベント
 - ◆キッチンカー
 - ◆「花のポット苗」プレゼント(先着順)
- …などイベント盛りだくさん

7/6(土) ▶ 7(日)

9:30 ~ 16:00

9:30 ~ 15:00

富山産業展示館 テクノホール

富山市友杉1682

富山県JAグループ/JA全農とやま

令和6年産米 出荷契約数量地区別明細

(単位：60kg/俵)

地 区							うるち計		酒米計
	コシヒカリ	てんたかく	てんこもり	富富富	ゆうだい21	その他	うるち計	五百万石	
太 田	13,478.5	348.5	531.5	3,238.5	2,977.5	10.0	20,584.5	2,068.5	2,068.5
新 保	4,543.5	526.0	85.5	330.0	590.0	185.0	6,260.0	0.0	0.0
熊 野	11,385.5	1,024.0	851.0	1,601.0	2,555.0	40.0	17,456.5	0.0	0.0
月 岡	8,141.5	893.5	363.5	4,080.5	2,080.0	0.0	15,559.0	0.0	0.0
南支店計	37,549.0	2,792.0	1,831.5	9,250.0	8,202.5	235.0	59,860.0	2,068.5	2,068.5
蜷 川	3,322.5	304.5	28.5	717.0	88.0	211.0	4,671.5	0.0	0.0
堀 川	2,678.0	23.0	0.0	108.5	58.0	0.0	2,867.5	0.0	0.0
山 室	3,928.5	20.0	95.0	639.5	1,225.5	0.0	5,908.5	0.0	0.0
中央支店計	9,929.0	347.5	123.5	1,465.0	1,371.5	211.0	13,447.5	0.0	0.0
本 店	1,190.0	0.0	305.5	0.0	540.0	110.0	2,145.5	0.0	0.0
合 計	48,668.0	3,139.5	2,260.5	10,715.0	10,114.0	556.0	75,453.0	2,068.5	2,068.5

地 区			もち計	出荷契 約米計	加 工 用 米					合計	備 蓄 米			
	新大正糯	その他もち			コシヒカリ	てんたかく	てんこもり	その他	コシヒカリ		てんたかく	てんこもり	合計	
太 田	346.5	0.0	346.5	22,999.5	460.0	1,552.5	2,414.0	0.0	4,426.5	1,423.5	512.0	477.5	2,413.0	
新 保	0.0	6.5	6.5	6,266.5	130.0	0.0	470.0	46.5	646.5	513.0	157.0	120.0	790.0	
熊 野	264.5	0.0	264.5	17,721.0	241.5	281.5	1,376.5	0.0	1,899.5	884.5	172.0	1,658.5	2,715.0	
月 岡	121.0	0.0	121.0	15,680.0	67.0	371.5	25.5	0.0	464.0	569.0	475.0	406.0	1,450.0	
南支店計	732.0	6.5	738.5	62,667.0	898.5	2,205.5	4,286.0	46.5	7,436.5	3,390.0	1,316.0	2,662.0	7,368.0	
蜷 川	84.5	0.0	84.5	4,756.0	502.0	14.5	0.0	389.0	905.5	143.5	9.5	289.0	442.0	
堀 川	71.5	0.0	71.5	2,939.0	3.0	56.0	0.0	0.0	59.0	231.5	22.5	0.0	254.0	
山 室	56.5	0.0	56.5	5,965.0	97.5	0.0	68.5	0.0	166.0	317.0	0.0	34.5	351.5	
中央支店計	212.5	0.0	212.5	13,660.0	602.5	70.5	68.5	389.0	1,130.5	692.0	32.0	323.5	1,047.5	
本 店	0.0	0.0	0.0	2,145.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.5	84.5	
合 計	944.5	6.5	951.0	78,472.5	1,501.0	2,276.0	4,354.5	435.5	8,567.0	4,082.0	1,348.0	3,070.0	8,500.0	

富山市
オーガニック・ビレッジ宣言が
行われました

有機農業は、生き物の多様化や地球温暖化防止に効果があるとされています。

このことから、富山市では、農業の面から持続可能なまちづくりに貢献するため、令和6年3月末に富山市有機農業実施計画を策定し、それに合わせ、令和6年3月29日に藤井裕久富山市長から「富山市オーガニック・ビレッジ宣言」が行われました。

計画や宣言の内容は、富山市ホームページの「有機農業の取り組み拡大について」から確認できます。

この宣言が契機となり、農業者から消費者まで有機農業に対する理解が幅広く進み、有機農業と慣行農業等が両立し、自然と調和した本市農業を目指す第一歩となることが期待されます。



問合せ 富山市農業水産課園芸畜産係
電話 076-443-2083

令和6年度 地域農業振興支援事業

事業名	事業内容	交付条件	助成金額	摘 要
①新規就農者 支援助成	新規就農者の経営開始に係る機械導入等購入費用を助成	認定新規就農者（富山市認定）又はそれに準ずる新規就農者	新規就農に必要と認められる費用の一部を助成 事業費の1/10 最高 50 万円	農協からの機械導入に限る。 行政等他補助金との重複は対象外。
②土づくり 支援助成	②－1 水稻の地力増強に係る珪酸質資材の散布作業料金を助成	生産組合単位または水稻面積10ha以上（受託含、団地化）珪酸質資材を基準量以上施用	耕作者に対して作業料金を助成 800 円／10 a	資材料金は個人負担。 農協からの資材購入に限る。 但し、中間追肥は除く。
	②－2 肥料施用量の適正化に向けた土壌分析に係る費用を助成	農協に委託した土壌分析に係る費用の一部助成	水稻用分析パック 園芸用分析パック 2,000 円／1 パック助成	全農及び農協による分析に限る。
	②－3 牛ふん堆肥散布助成	牛ふん堆肥代金に対して助成	牛ふん堆肥 2 t 1,000 円／1 台	富山市農協管内畜産農家からの購入に限る。
③受託作業 支援助成	農協からの再委託作業を行う場合に助成	農協からの再委託作業について助成	作業料金の1割 ※市街化地区は2割	農協からの再委託作業に限る。
④米合理化 推進助成	米の集出荷の合理化（フレコン出荷）・コスト低減を図る取組みに対して助成	フレコン出荷者に限る。 農協施設利用者に限る。 富山市農協指定機材に限る。	事業費の1/3 リフトは1/6 最高 50 万円 RC スタンドバック 10,000 円（1 枚） ラック倉庫・種子センター 2,000 円（1 枚）	合理化に必要な機材・施設に係る費用の一部。 農協からの機材導入に限る。
⑤スマート農業 推進助成	コスト低減に資するスマート農業機械の導入に対して助成	ドローン・自動灌水装置 自動運転機械等	農機具の購入助成 事業費の1/10 最高 50 万円	農協からの機材導入に限る。 自動運転機械は自動運転に係る費用分のみ対象とする。
⑥園芸振興 支援助成	⑥－1 園芸作物を取り入れた複合化及びコスト低減に必要な費用を助成	各部会に所属及び共選共販を行うこと。 既に複合化をしている方は品目を増やす場合に対象。	事業費の1/10 最高 50 万円	機材の見積書、契約書。 農協からの機械導入に限る。 1 品目 1 回に限る。
	⑥－2 出荷数に応じて出荷容器の費用を一部助成	各部会に所属及び共選共販の品目であること。 出荷用のダンボール箱等。	出荷容器額の3割を助成	箱の出荷数量に対して助成。 農協からの資材購入に限る。
	⑥－3 園芸作物を新規に取組む生産者の種苗代金を一部助成	各部会に所属及び共選共販を行うこと又は、農協推奨品目に取組むこと。	種苗代金の一部を助成 事業費の1/2 最高 20 万円 新規取組者の初年度のみ	農協からの資材購入に限る。 新規栽培に限る。
	⑥－4 各部会の販売拡大及びコスト低減に必要な費用を助成	富山市農協管轄の部会組織であること。	最高 30 万円（1 部会年間）	事業主体は各部会であること。 農協からの資材購入に限る。
	⑥－5 園芸作物の直売所出荷費用を一部助成	富山市農協直売所に出荷している生産者及び直売会に対して助成	直売会：直売所売上上の1% 生産者：売上 30 万円以上 売上 50 万円以上 売上 100 万円以上	売上上の1% + 3,000 円 売上上の1% + 5,000 円 売上上の1% + 10,000 円
⑦畜産振興 支援助成	畜産飼料価格高騰対策助成	飼料価格の高騰に対する助成	飼育頭数×10,000 円（年間） 年間最高 50 万円	農協からの飼料供給額の範囲内
⑧低コスト農業 推進助成	3 戸以上の生産者で機械の共同利用をする際に助成	5 ha 以上の取組に対して助成	事業費の1/10 1 経営体 1 回 最高 50 万円	機材の見積書、契約書。 農協からの機械導入に限る。
⑨農業資格取得 支援助成	農業機械運転資格等の取得費用を助成	農業に直接関係する資格に限る（大型特殊・リフト等）。	資格取得費用の1/3 最高 10 万円	取得資格免許の写し 領収書等
⑩農業新聞購読 支援助成	農業新聞を年間購読している農業者に対して購読料を助成	富山市農協組合員及び役職員に限る。	年間購読料金の約 1/3 助成額 1 万円（年間）	富山市農協への申込購読者を対象とする。
⑪農業資金 借入助成	農協資金による借入に対して保証料見合いを助成	近代化資金等制度資金に限り対象とする。	保証料額を助成	農協からの機械導入に限る。
⑫米選別網 購入支援助成	ゆうだい21の生産者が1.8mmの米選別網を購入する際に助成	農協からの機械購入に限る。	購入費用の1/2を助成	農協からの購入伝票 ゆうだい21生産者に限る。
⑬食農教育 支援助成	農協管轄組織及び管内地域組織が行う食農教育を支援	食農教育及び農協活動の啓蒙等に資する取組に限る。	活動費を助成（人件費等は対象外） 最高 3 万円／回 12 万円／年	富山市農協管内組織に限る。 （例）出前授業・子供食堂等

理事会だより

第1回 定例理事会次第

と き/令和6年3月29日(金)
午後1時30分
ところ/本店 会議室

協議事項

- 1) 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更(案)について
- 2) 就業規則及び臨時僱員就業規則の一部変更(案)について
- 3) 内部統制システム基本方針の一部改定(案)について
- 4) 共済規程の一部変更(案)について
- 5) ローン融資要項(統一版)(富山県版)の一部改正(案)について
- 6) 第59回通常総代会及び事前説明会開催について
- 7) 第59回通常総代会付議議案(案)について
- 8) 第59年度事業計画設定(案)について
 - ①金融共済委員会事業計画(案)について
 - ②営農経済委員会事業計画(案)について
 - ③企画総務委員会事業計画(案)について
- 9) (有)ジェイエーとやまサービス決算及び事業計画(案)について
- 10) 第59年度における同一人に対する信用供与の最高限度額決定(案)について
- 11) 第59年度における余裕金の運用(案)について
- 12) 第59年度借入金金の最高限度額決定(案)について
- 13) 経済事業にかかる理事との契約(案)について
- 14) 労働組合要求について

第2回 定例理事会次第

と き/令和6年4月30日(火)
午後1時30分
ところ/本店 会議室

協議事項

- 1) 令和5年度決算(修正)案について
- 2) 令和6年度事業計画設定(案)の修正について
- 3) 自己改革工程表の取組み状況(案)について
- 4) 自己資本比率(案)について
- 5) 第59回通常総代会の運営(案)について
- 6) 会計監査人の報酬等(案)について
- 7) 令和6年度産米出荷契約金の資金対応(案)について
- 8) (有)ジェイエーとやまサービスの令和5年度決算修正(案)について

第3回 定例理事会次第

と き/令和6年5月25日(土)
午前9時30分
ところ/本店 会議室

協議事項

- 1) 出資口数の減少申込(案)について

第1回 臨時理事会次第

と き/令和6年6月7日(金)
午後1時30分
ところ/本店 会議室

協議事項

- 1) 理事の報酬配分について

職員人事異動

左記のとおり職員人事を行いましたのでご案内申し上げます。

新規採用

新 任	氏 名
臨時僱員 営農経済部 営農販売課 (有)ジェイエーとやまサービス担当	福澤 剛
臨時僱員 営農経済部 営農販売課 富山市農業再生協議会担当	清水麻由美
臨時僱員 営農経済部 購買課	石田 正典
臨時僱員 営農経済部 購買課 物流センター	川上 仁志
臨時僱員 営農経済部 購買課 農機係	斉藤 和雄

新規(学卒)採用

新 任	氏 名
臨時僱員 営農経済部 営農販売課 水稲・指導係	笹井 翔伍

職員人事

新 任	氏 名	旧 任
中央支店 金融窓口係	前田 真由	企画総務部 総務課
中央支店 経済窓口係	藤野 七緒	中央支店 金融窓口係
臨時僱員(嘱託) 営農経済部 営農販売課 (有)ジェイエーとやまサービス担当	竹島 克朗	臨時僱員(嘱託) 営農経済部 農機自動車課

退職

区分	氏 名	旧 任
雇用契約 満了	實場真由美	臨時僱員 営農経済部 営農販売課 富山市農業再生協議会担当
雇用契約 満了	深川 靖彦	臨時僱員 営農経済部 物流センター
雇用契約 満了	細岡 依里	臨時僱員 営農経済部 購買課 燃料センター
依願退職	奥田 紗月	南支店 金融窓口係



JA富山市
まんなか市場
Instagram
Follow me!

お得な情報や
イベント情報を
リアルタイムで更新中!

今月の表紙

みなさまに愛されて7周年！ ～二人三脚で日々成長中～

2017年6月1日にオープンしたJA富山市直売所 まんなか市場。組合員の皆さま、地域の皆さまに愛されて7度目の誕生日を迎え、7周年を記念したイベントを5月31日から6月1日の2日間にかけて開催。来店者プレゼントや試食会などイベントならではの特典に、朝から多くの来店者で大賑わいとなった。

まんなか市場には、JA富山市直売会会員の皆さまが愛情込めて作った新鮮野菜や加工品が並ぶ。直売会はまんなか市場オープンと同年に発足し、今年で8年目を迎えた。発足時には100人にも及ばなかった会員数が今では200人を超え、春夏秋冬さまざまな彩りを与えている。

まんなか市場と直売会は二人三脚。これからも地域に根付いた愛される直売所を目指し、日々切磋琢磨していく。まんなか市場、寄ってかれ～!

